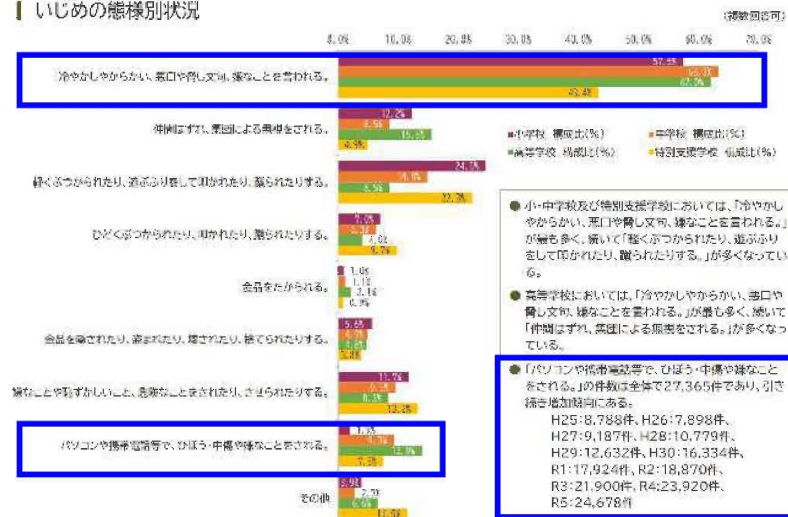


1 北九州市のいじめの現状について

1 北九州市のいじめの現状について

いじめの態様別状況



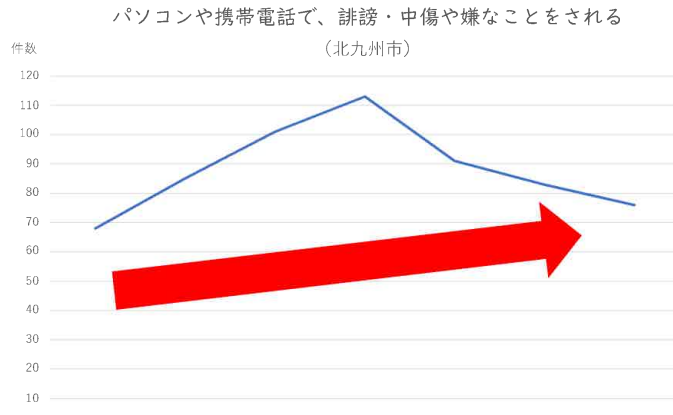
● 小・中学校及び特別支援学校においては、「冷やかしからい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。」が最も多く、続いて「軽くぶつかられたり、道ばかりを歩いて叩かれたり、蹴られたりする。」が多くなっている。

● 高等学校においては、「冷やかしからい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。」が最も多く、続いて「特別はすれ、原因による虐待をされる。」が多くなっている。

● 「パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる。」の件数は全年で27,365件であり、引き続き増加傾向にある。
 H25:18,788件、H26:17,898件、
 H27:19,187件、H28:10,779件、
 H29:12,632件、H30:16,334件、
 R1:17,924件、R2:18,870件、
 R3:21,900件、R4:23,920件、
 R5:24,678件

Ⅰ 北九州市のいじめの現状について

いじめの態様別状況について



ネットいじめ未然防止の取組

Ⅰ 北九州市のいじめ防止の取組について

いじめ重大事態の発生状況

取組の経緯

年度	重大事態 件数
R4	3件
R5	1件
R6	4件

第三者委員会からの提言と再発防止策

(1) 学校における再発防止策

(2) 市教育委員会における再発防止策

ア いじめ対策等の周知について

イ 合理的配慮の確認について

ウ 専門職の活用について

エ 重大事態への早期対応について

オ 児童や保護者へのフォローアップについて

カ いじめ実態調査の検証について

キ 臨床心理学的見地からの施策・体制の拡充に
ついて

ク 学校現場での働き方改革について

取組状況の検証

2 北九州市の いじめ防止の取組について

2 北九州市のいじめ防止の取組について

令和7年度の新規取組

- ① ネットいじめを防止するための取組
- ② 北九州市いじめ防止校内研修パッケージ
- ③ 「いじめ実態調査」のオンライン化

2 北九州市のいじめ防止の取組について

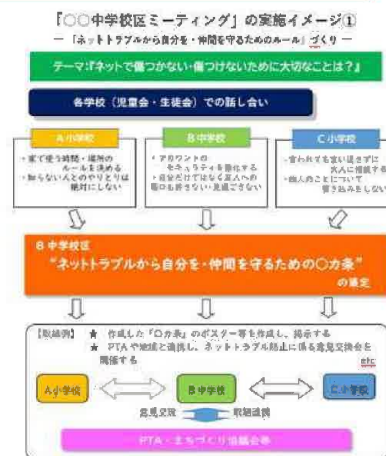
① ネットいじめを防止するための取組

- ・ 中学校区ミーティング
- ・ 「ネットトラブル防止のためのルール」作成

2 北九州市のいじめ防止の取組について

① ネットいじめを防止するための取組

中学校区ミーティング



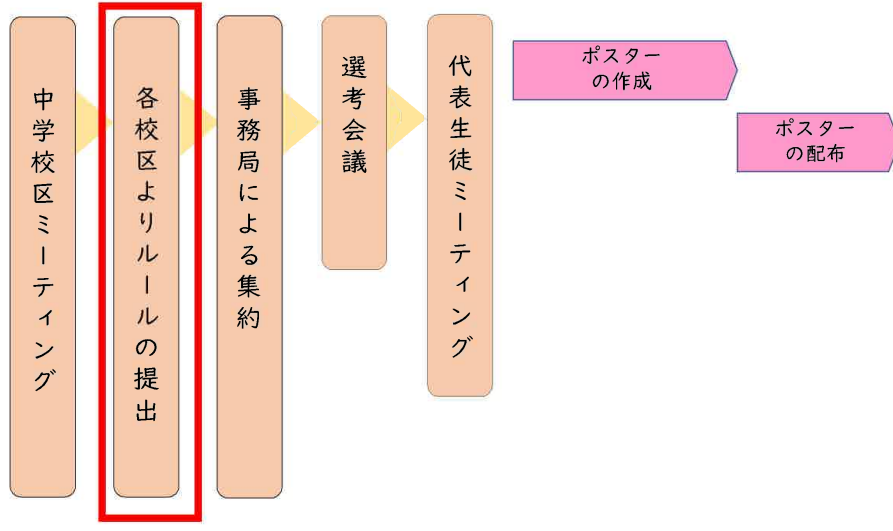
各学校の課題を持ち寄り
中学校区単位で
解決策を協議

児童生徒だけではなく
保護者にも関わってもらう
取組を展開

2 北九州市のいじめ防止の取組について

令和7年度

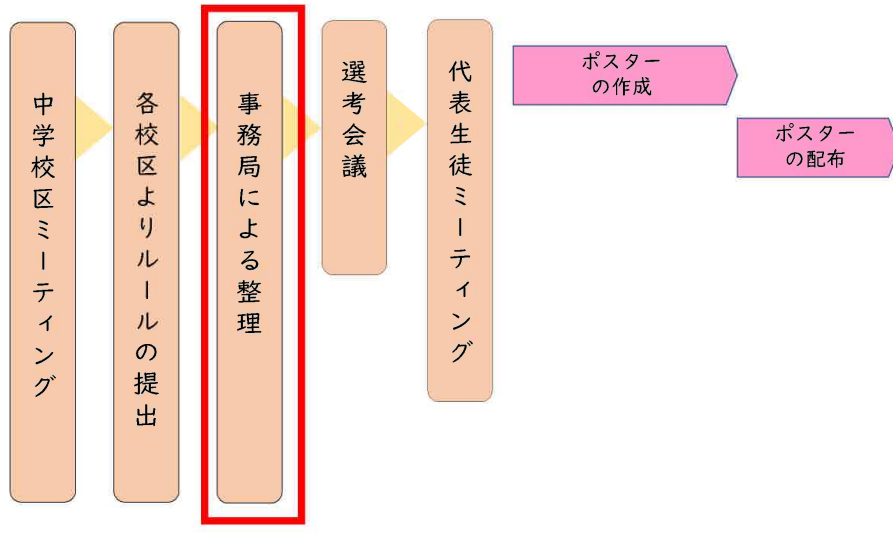
7～11月 11月 12月 1月 2月 3月



2 北九州市のいじめ防止の取組について

令和7年度

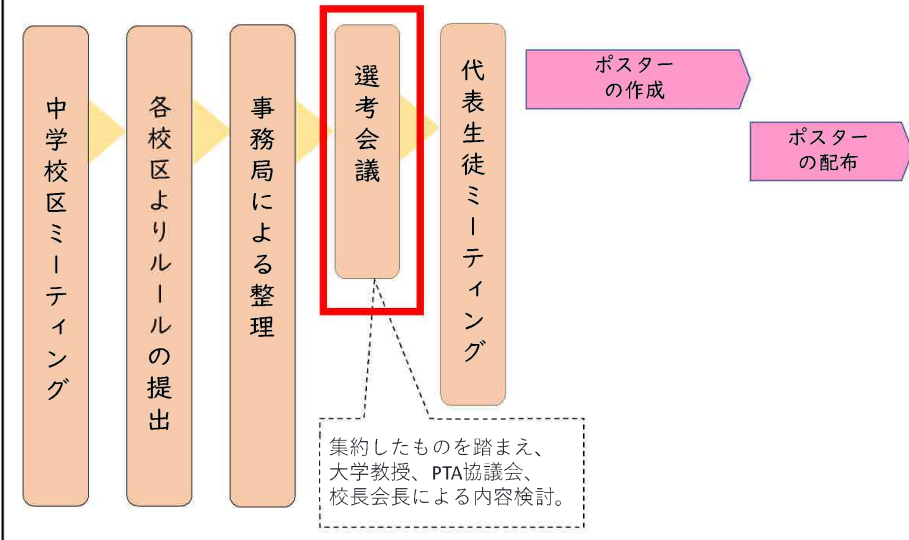
7～11月 11月 12月 1月 2月 3月



2 北九州市のいじめ防止の取組について

令和7年度

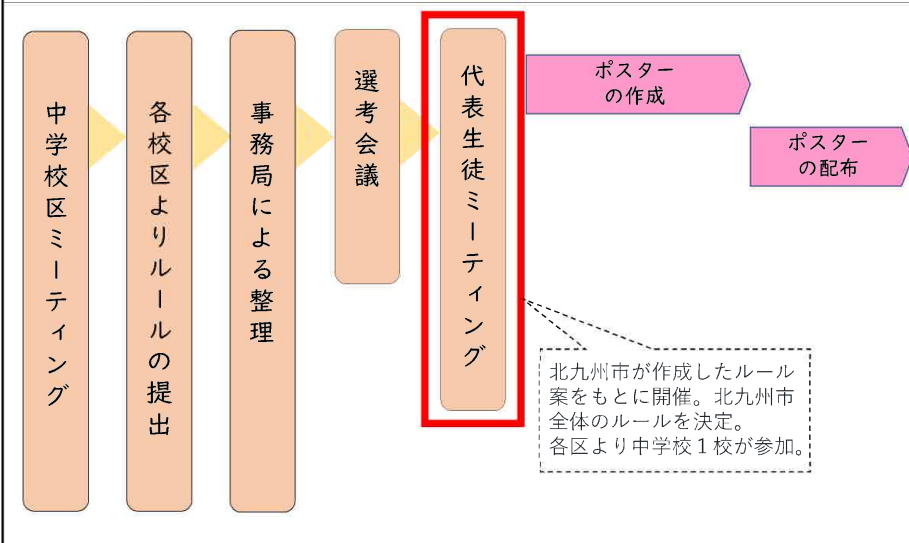
7～11月 11月 12月 1月 2月 3月



2 北九州市のいじめ防止の取組について

令和7年度

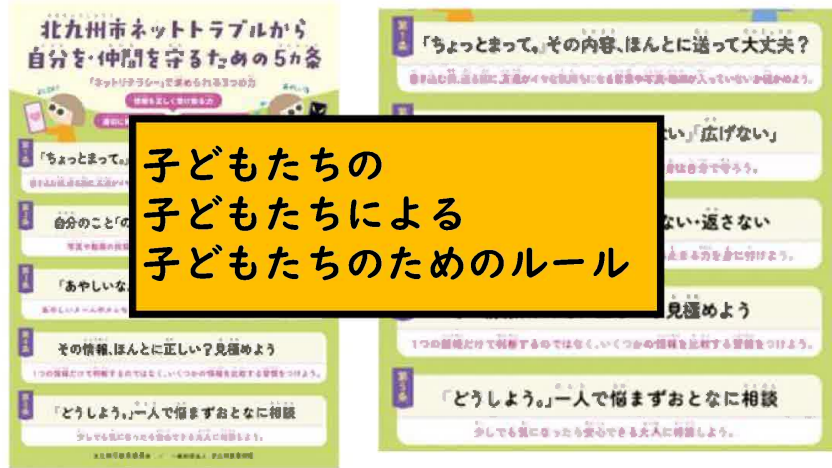
7～11月 11月 12月 1月 2月 3月



2 北九州市のいじめ防止の取組について

① ネットいじめを防止するための取組

啓発ポスターの作成



2 北九州市のいじめ防止の取組について

① ネットいじめを防止するための取組

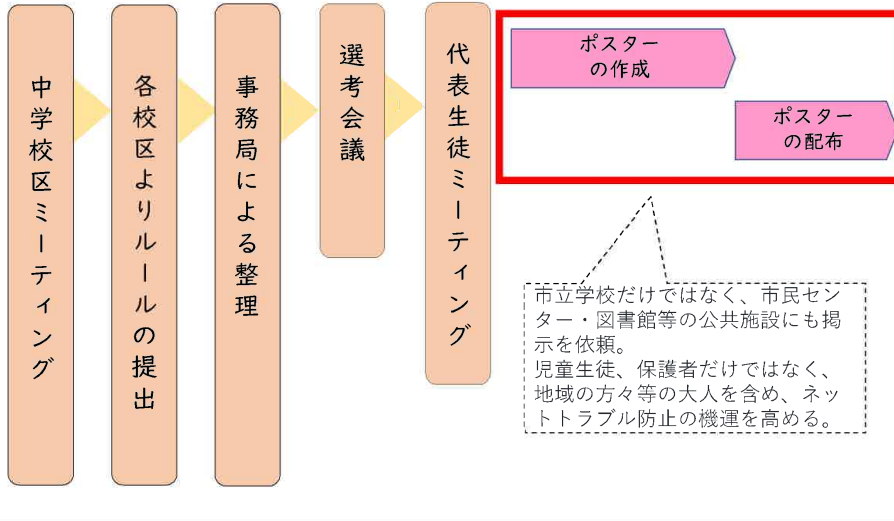
啓発ポスターの作成



2 北九州市のいじめ防止の取組について

令和7年度

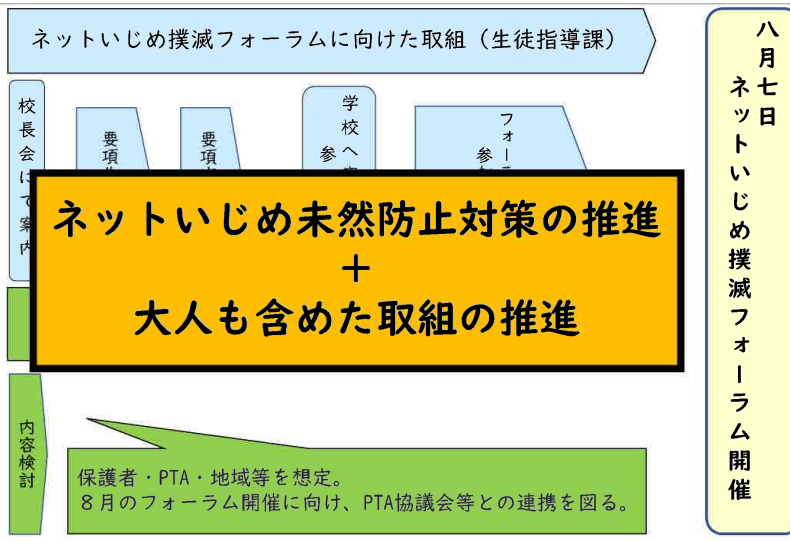
7～11月 11月 12月 1月 2月 3月



2 北九州市のいじめ防止の取組について

令和8年度

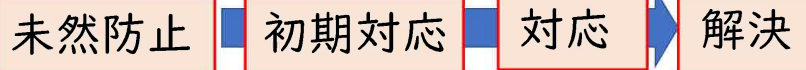
4月 5月 6月 7月 8月



2 北九州市のいじめ防止の取組について

②北九州市いじめ防止校内研修パッケージ

プロセスごとにまとめた校内研修資料



指摘 ○いじめ対策等の周知について
○重大事態への早期対応について

- 1 いじめ防止対策推進法について
- 2 いじめの定義について
- 3 いじめの認知について
- 4 いじめへの対応について
- 5 いじめの未然防止について
- 6 調査報告書の事例を踏まえた
いじめ重大事態の再発防止について

2 北九州市のいじめ防止の取組について

②北九州市いじめ防止校内研修パッケージ

【指摘事項(一部抜粋)】

- ・ 議事録が残っていなかったこと
- ・ 初期対応の遅れがみられたこと



7 追補版

いじめに係る対応について

～「いじめ重大事態調査報告書」の提言を受けて～

2 北九州市のいじめ防止の取組について

③「いじめ実態調査」のオンライン化

【変更前】

月に1度の月末統計報告のみ

- 学校のいじめ認知から教育委員会までの報告に最大で30日程度のタイムラグ



【変更後】

いじめ実態調査オンライン化

- 学校のいじめ認知を即時に教育委員会に報告

2 北九州市のいじめ防止の取組について

③「いじめ実態調査」のオンライン化

従来の報告ルート

◇ いじめ疑いの事案発生・把握

◇ いじめの認知

◇ 月末統計で教育委員会に報告

◇ 解消まで経過報告

新たな報告ルート

◇ いじめ疑いの事案発生・把握

◇ いじめの認知

◇ 第一報（認知後すぐ）

◇ 第二報（追加入力）

いじめに関する実態調査

◇ 解消まで経過報告

「解消」までオンラインで経過を追記

2 北九州市のいじめ防止の取組について

③「いじめ実態調査」のオンライン化

【期待される効果】

- 1 報告の即時性が高まる
- 2 迅速な学校支援体制が構築される
- 3 学校と教育委員会が連携し、適切な初期対応を行うことができる